

たより



夏季休業中開催の研修講座報告3

東浦先生、「ものづくり」講座!

宮川中学校の技術室から、ガガガ・・・トントンと心地よい音が聞こえてきます。7月と8月の2回に渡ってに行われた「今日から使える書画カメラ・プロジェクター一台の製作」の講座です。講師は、宮川中学校の東浦道範教頭先生。始まる前から、参加された先生方の意欲満々の話し声が教室いっぱい広がっています。

初めに、作業手順と方法について説明がありました。「ケガはするものと思ってください。」とのアドバイスに、先生方の瞳がより真剣になります。そう思うことでケガは未然に防げるという話に納得です。電動ドリルや電動ヤスリの使い方もわかりやすく教えてくれました。二つの難所を越えたら出来上がるという説明に、『やるぞ!』という気運が高まります。説明の最後に、講師先生が、「絶対失敗はしません。失敗しそうな時は、必ずフォローしますので、安心して失敗をしてください。」と言われました。どこかホッとした、柔らかい空気が流れます。



いよいよ製作開始。台にキャスターをつけるという難所も、『協力』のもとにみごとに全員クリア。「ちょっと教えて。」「手伝いましょうか。」という会話が自然に生まれます。「こうしたらうまくいったよ。」「そうかあ!」と心が通い合う場面も出てきます。

ものづくりの醍醐味でしょうか、心温まる楽しい講座にいただいたこと、講師の先生はじめ参加者の皆様に感謝申し上げます。ありがとうございました。

アンケートより

(一部抜粋・満足度100%)

- ★ 電動ドライバー初体験で、心配でしたが、丁寧に教えていただき何とか仕上げることができました。細部にわたり、使い勝手のいいように考えていただいております。9月から大いに活用していきたいと思っております。
- ★ たくさんの先生方に助けていただいて、無事に完成させることができました。この便利ですてきな台を使って授業にどんどん視覚教材を活用していきたいと思っております。
- ★ 古い机やペットボトルのキャップを再利用して作ったプロジェクター一台は、とても使い勝手がよいです。これで、ICT機器の活用をもっと進めていけると思っております。

楠木先生、「理科授業づくり」講座！



ここは、御菌小学校理科室。暦の上では立秋、残暑がきびしい日ではありましたが、理科室は参加された先生方の意欲と熱意でさらに・・・。

前半は、楠木先生のお話です。初めは、観察させる時のコツや実験の進め方などについてです。例をあげながらのわかりやすいお話なので、参加された先生方は、頷いたり笑ったり。子どもの様子を語りながら、リズムカルに進む話に納得の表情です。

観察では、事前に子ども達の「早くやりたい」という気持ちを高めておくことが大切だと教えていただきました。このことは、理科に限らず、図工の絵を描く前の指導においても同じだそうです。子ども達の意欲を、子ども達との会話のやりとりの中で引き出していくという先生の具体的な話に、なるほど！！

実験の進め方では、器具の準備や片づけ、板書などについて教えていただきました。実験は、一人ひとりが「やってみる」ことが大切。グループ実験では、一人ひとりに役割があることが大切。どの場面でも、子ども達が大切にされていることが伝わってきます。「器具は出した者が片づける」というルールを徹底しておくことで、片づける時の混乱をさけることができるとわかりました。

板書では、実験の手順をざっと書いておくことも効果的だと話されました。教科書よりも簡単に、わかりやすく短い言葉で板書をするそうです。また、手順の説明と同時に、教師が動作化し、方法を視覚で記憶をさせることも大切だそうです。さらに、安全面は、何よりも重視してほしいと話されました。

子どもの言葉は、謙虚に、そして誠実に受け止めようというお話がありました。聞いている先生方は、さらに真剣な表情です。子どもの言葉から学んだことはたくさんある。まさかと思わず、きちんと受け止めることが大事。「なぜ？」をともに考える時、豊かな学びが生まれる。どの言葉も、心に深く響くものでした。

なかなか指示が通らない子どもへの対応についても話されました。「指示が通らないのは、子どもだけのせいじゃない。どうしたら指示が通るか、知恵比べをすることが大切。」というお話では、楠木先生と子ども達が勝負した具体的な例があげられました。

失敗をわざと見せて子ども達に安心感を持たせたり、観察のリハーサルを徹底して繰り返して自分でできる自信を持たせたり、遊びながら理解の定着を図ったりと、どのお話を聞いても、子どもの立場にたった指導なのだと実感しました。

後半は、子どもが喜ぶグッズ作り。「ふしぎな風車」「念力振り子」「飛び出すロケット」など、子ども達が喜ぶものばかり。9月からの授業に使えるかも！！



アンケートより

(一部抜粋・満足度100%)

- ★ 先生の話聞いて、自分の指導を見直すよい機会になりました。教材作りも夢中になってできました。
- ★ 理科は楽しいもの。まずは、教師が楽しめないといけません。そういう意味で、とてもよい講座でした。子ども達に、この楽しさを伝えたいです。
- ★ 理科の実験だけでなく、子どもへの指示の仕方、コミュニケーションのとり方などを教えていただき、見習いたいことばかりでした。
- ★ 楽しみながら理論と実技の両方を学びました。早速、子ども達に教えたいです。
- ★ 観察の基本の視点や実験の留意点など、理科が苦手な私は、とてもわかりやすく学習させていただきました。
- ★ 子どもになった気分研修を受けさせてもらいました。こんな楽しい時間を作る教師になりたいと強く思いました。先生みたいに引き出しをいっぱい持ちたいです。



伊勢市教育研究所 夏の研修講座



夏休みもあと少し！ 参加したい講座がありましたら、教育研究所までお問い合わせください。(すでに満員の講座もあります。)

日時	演題等	講師	場所
8月20日(月) 受付13:15~	コツがわかれば子どもが変わる！子どもが夢中になる図画工作指導 ~手づくりおもちゃを中心に~	竹井 史 (愛知教育大学教授)	小俣小学校
8月21日(火) 受付8:30~	師範授業:細水保宏先生の師範授業(四郷小学校 5年) 講義:「考える力・表現する力」が育つ算数・数学の授業	細水 保宏 (筑波大学附属小学校 副校長)	四郷小学校
8月21日(火) 受付12:45~	実技で学ぶ、ジャストスマイル・コラボノートの活用	民間ICT関連会社 講師	明野小学校
8月22日(水) 受付13:00~	誰もが行きたくなる学級・学校づくり	栗原 慎二 (広島大学大学院教授)	伊勢市小俣総合支所
8月23日(木) 受付14:15~	教師の元気アップセミナー	諸富 祥彦 (明治大学教授)	伊勢市生涯学習センター いせトピア
8月24日(金) 受付15:15~	子どもを取り巻く情報社会の現状と課題(情報モラル) ~家庭と学校で守る子どもの安全~	中川 一史 (放送大学教授)	ハートプラザみその